

平成27年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol. 14 平成28年2月19日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

明石市地域自立支援協議会くらし部会ワーキンググループ「すまいの会」では、昨年度よりグループホーム（以下GH）について話し合いを重ねてきました。そこで、GHをより身近に感じてもらう、社会資源として広く知っていただく機会をつくりたいと考え、去る2月3日に「GHの魅力や可能性について考えるフォーラム」と題し、利用者、支援者、運営者、相談支援専門員の各々の立場から、GHの魅力やそこに内包する課題などを報告しました。

フォーラムを進めながら、GHという社会資源が、終の棲家としての考え方だけでなく、自立へのツールとしての機能や、レスパイトケアのための機能、また、福祉という分野だけでなく、地域の核としての雇用創出の場や、コミュニティーの活性材料にもなり得るといふ、非常に可能性が高いものなのだと、改めて考えさせられました。

しかし、運営者にとっては採算面や人材不足が懸念材料であり、従事者はやりがいがあるものの、様々な難しさを孕んでいることも事実であり、今後、行政等も含め問題解決に当たる必要があるのではないかと実感しました。

フォーラムの終了後にお寄せいただいたアンケートの中にも、GHへの期待感や利用者の方の生の声が聞けて良かったなどのご意見があると同時に、運営面への懸念や、もっと詳細を知りたいといったご意見も頂きました。

次のページに、そのアンケートの結果から、いくつか抜粋したものを掲載させていただきます。

フォーラムの様子



フォーラム終了後のパネラーのみなさま



前列左より こぐまGH 溶田さん、宮本さん
 やまゆりの家 原田さん、萩原さん
 後列左より こぐまくらぶ 理事長 松本さん
 にじの空 事業長 山崎さん
 東播磨圏域コーディネーター 濱口さん

フォーラムの感想

- やはり、ニーズと現実のギャップがあることが分かって良かったです。「親がいても」「地域をつくる」はキーワードとして残りました。しかし、GH・・・どうしても明るいものとして印象に残らないのが残念・・・。
- 当事者の方、実際に運営されている方から直接話を聴けて、現状や利用している様子について、とてもわかりやすくよかったです。当法人としても、今後GHの運営を検討していきたく思います。
- GHの利用者、現場の職員、運営者それぞれのご意見をお聞きさせて頂けてよかった。当法人は、GHは現在運営していないが、GHへの入所を希望、検討されている利用者の方、保護者の方も多くいらっしゃる。今後については、まだまだ未定であるが、運営するにあたっての素晴らしさ、難しさを知ることは大変勉強になった。通所事業だけでは見ることができない利用者の方々の一面を知ることは重要なことだと思うので、GHを利用されている利用者が通所することになったら、連携をとっていきたいと思う。特に生活面での支援が必要だと感じている利用者で、なかなか改善が見られない方に関しては、GHの利用を検討しても良いのではと感じた。
- 個々のお話は興味深く良かったが、前後の流れが少しちぐはぐだった。参加申込時に、質問する項目を記入させて頂き、回答して欲しかった。パワーポイントのデータを個人情報部分を除いた形でほしい。入所者の意見はとても参考になった。
- グループホームについて知りたかったことが、わかりやすく説明していただけて大変理解が深まりました。また、利用者さんの声も聞けて利用イメージが伝わりました。ありがとうございます。社内にもちかえりスタッフと検討したいと思います。

自立支援協議会への意見

- 次は、働く方の困りごと、運営側の困りごと、利用する側の困りごとを知りたいと思いました。
- 市、地域によって協議会の運営が異なっている部分を知ることができて良かった。ワーキングも細やかに取り組まれている印象です。
- このような研修会をもっと開いてほしいと思います。
- 当方は垂水の事業所ですので、垂水の自立支援協議会でもこのような会をもちたいと思います。
- GHの立ち上げ方、難しさを別途相談させてください。ショートステイについてもお願いします。
- 部会の役割が明確で方向性がはっきりしているのは良いと思いました。家族利用者の高齢化の問題は全国共通の課題だと思います。
- 地域で暮らし続けるために「グループホーム」の役割は大きくなりつつあると思うので協議会で考え検討されており素晴らしいと思います。勉強になりました。くらし部会、しごと部会、こども部会の組織で運営されているのは、神戸市東灘区と同じですが内容が違って勉強になりました。充実されているように思います。

これ以外にも、数多くのご意見を頂きました。ありがとうございます。

GHに対する前向きな意見も多く、GH開設を考えてみようかと思われたといった意見を拝見できたのが何よりでした。もちろん開設は一足飛びに進むものではないでしょうが、GHへの興味を持っていただけるきっかけ作りが出来たのではないかと感じています。今後も、皆様のご理解とご協力を頂きながら、地域として福祉を盛り立て誰もが様々な社会資源を選択して生活できる社会へ一歩でも近づけるように活動が出来たらと感じております。

